

会 告

第33回日本設計工学会CAD/CAE研究会への参加のお誘い

CAD/CAE研究会主査
東京理科大学 吉本成香

CAD/CAE研究会は1998年に発足し、2004年度より設計工学会内に設置された研究会として活動してまいり、次回で33回目の開催となります。毎回、企業および大学から講師を招き、CAD/CAEの企業内あるいは大学における活用方法、教育方法などについて議論を行っております。ご講演内容は、CAD/CAEに携わる方々にとって非常に有益で示唆に富むものとなっております。この度、33回の委員会を開催するにあたり、広く設計工学会会員の皆様に参加を呼びかけ、多くの方々に委員会に参加頂くことに致しました。

つきましては、ご希望の方は、下記の要領にてお申し込み下さい。(参加無料です)

ただし、会場の大きさに制限がありますことから、先着20名様で締め切らせて頂きます。

日 時：4月23日(月) 13時～17時

場 所：東京理科大学森戸記念館第一会議室

(地図：<http://www.tus.ac.jp/info/access/kagcamp.html>)

講演内容：

(1). 初期設計を支援する First Order Analysis (FOA)

豊田中央研究所 尼子龍幸様
車両開発における CAE の役割は、評価段階における試作

の代替としての数値実験的なものから、企画・設計段階を含んだ開発プロセス全体を支えるものとして議論され始めている。その初期設計段階の CAE としての First Order Analysis (FOA) を紹介する。

(2). 金属の疲労破壊現象解明のための「滑らかな応力-ひずみ」関係について

東京理科大学 機械工学科 尾崎伸吾様
金属の疲労破壊現象や地盤の破壊現象に代表される繰返し負荷現象を解明するためには、日本のみならず世界でもよく知られた非古典弾塑性構成式「下負荷面モデル」を用いる必要がある。本講演では、この構成方程式で表現される「滑らかな応力-ひずみ」関係について、例を挙げながら分かりやすく、かつ易しく解説する。

申し込み方法

Eメールにて「CAD/CAE研究会参加申し込み」と題して、4月14日(土)までに、参加者氏名、お勤め先・部署をご明示の上、下記のメールアドレス宛お申し込み下さい。

yosimoto@rs.kagu.tus.ac.jp